

平成30年6月22日

第1回八尾翠翔高等学校運営協議会（報告）

協議委員（5名）の参加をいただき、本校教職員（4名）が同席し協議を行った。主な質疑等については、以下の通りである。

① 学校経営計画より

初めに、本年度の学校経営計画について教頭より説明した。経営計画の指標として利用している「学校教育自己診断アンケート」では、授業満足度の数値が低下している一方、「授業アンケート」での授業満足度は逆に上昇しており、この原因について今後分析して必要がある。また、「自己診断アンケート」の「進路指導」における生徒の進路ガイダンスでの満足度が昨年以上に上昇しており、生徒の進路指導に対する信頼は、相変わらず高いことをうかがわせる。

また、昨年度の課題でもあった「生徒のプレゼンテーション能力の育成」では、昨年より高い評価にはなったが、まだまだ向上の余地もあり、プレゼン大会等の取組みを今後考えている。同時に、本校の特色である「知的障がい生徒自立支援コース」生徒と普通科の生徒との交流について、より積極的に進めていくことも課題である。

【意見・提言】

- ・学力の向上は、学校の授業が基本であるということを生徒はしっかり認識すべきだ。大学入試でも、授業をきっちりと理解していない生徒は伸びない。
- ・今年の1年生は定員を大きく割ったと聞いている。定員割れを防ぐためには、語学（英語力）を伸ばすことが肝要だ。国際交流や民間の検定テスト等を利用して、生徒のモチベーションの向上に努めてはどうか。
- ・プレゼン能力の向上をめざすためには、言いたいことが自由に言える環境が必要だ。生徒と先生との距離感が遠いのではないか。
- ・生徒会活動などで、生徒自身が企画して実施する等、いろんなことを試してみることも必要だ。
- ・この学校に行ったらこれがあるという目玉を作って欲しい。充実した夏の進学講習等、もっとアピールすべき。
- ・今年度は、地域とのさまざまな取組みについて連携をしているようなので、期待している。勉強だけではなく、社会教育や社会体験も充実させていった欲しい。

② 年度採用予定の教科書の紹介

委員の方々に見ていただき、採択予定教科書へのご理解を得た。